

地方創生推進交付金事業実施状況及び事業の評価								
事業名	養父市関係人口拡大・創出事業							
交付金名	地方創生推進交付金事業(地方創生推進タイプ)							
事業年度	令和3年度～令和5年度(3年間)							
事業概要及び事業費	全体概要 少子高齢化により衰退が進んでいる建屋地域において、学校や地域が一体となって地域力の維持を進めるため、交流プロモーションの実施と地域資源を活用したワークショップを開催する。							
	年度	事業概要					事業費	
	R3	【シティブロモーション事業】 地域おこし協力隊やフリーランスと連携し、市民参加型のCMを作成 ロングバージョン473,000円 ショートバージョン495,000円 【コワーキング事業】 市の遊休施設を活用したコワーキングスペースを整備 コワーキング用回線使用料7,590円×12か月 91,080円					1,059千円	
	R4	【空き家活用事業】 DIYワークショップ材料費及び講師謝金 材料費等1,000,000円 講師謝金30,000円 【コワーキング事業】 市の遊休施設を活用したコワーキングスペースを整備 コワーキング用回線使用料7,590円×12か月 91,080円					1,121千円	
	R5	【シティブロモーション事業】 地域おこし協力隊やフリーランスと連携し、市民参加型のCMを作成 460,000円 【関係人口創出事業】 メタバースを活用した移住相談会 50,000円 【地域資源の情報発信事業】 デジタルブック導入 37,312円 PR用資材作成 56,870円 32,242円 【コワーキング事業】 市の遊休施設を活用したコワーキングスペースを整備 コワーキング用回線使用料7,590円×11か月 83,490円					719千円	
計						2,899千円		
KPI	評価指標 (KPI)	開始前 R2	目標値			実績値		
			R3	R4	R5	R3	R4	R5
	①地域への移住者	0	4	2	4	4	2	10
	②交流拠点を利用した人	0	0	2	4	0	2	6
事業評価	R3	予定していた空き家を活用した交流拠点整備事業(DIYワークショップ)については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できなかった。シティブロモーションの動画を作成し、「やぶぐらしチャンネル」を開設しYouTube等でのPRを行った。閲覧数は9本作製し約6,200回視聴があった。						
	R4	1年目に予定していた空き家活用DIYワークショップを開催し、都市部との交流を含めた関係人口創出事業を行い、開催地区外の参加が多くあり、地域住民との交流ができた。また参加者には地元の特産品「ちよんまげ寿司」などを提供し交流を深めることができた。						
	R5	養父市が取り組んでいるメタバースを活用し、移住相談会を開催した。養父市地域おこし協力隊がシステム構築を行い、関係人口創出事業として相談会を行った。養父市が作成している移住ガイドブックのデジタル化に取り掛かり、デジタルブックとして情報を発信することができた。1年目に引き続き、プロモーション動画を作成した。特産品、関係人口にテーマを置き4本の作成を行い、約1,100回の視聴があった。今後はこの動画を有効に活用し、地場産品のPRに繋げていく。						
担当課	やぶぐらし・地方創生課							